

藤棚新聞



第51号2版
2016年(平成28年)
12月27日
偶数月発行
フリーペーパー

「子どもの第3の居場所」～食事とふれあい～

みなさんは子ども食堂をご存知でしょうか？子ども食堂とは、両親の共働き等の事情により、家庭で満足に食事をとれない子どもたちのために、地域の大人が中心となって食事の機会を提供する仕組みです。食事は無料、または安価であるため、子どもたちが気軽に利用できる場所となっています。メニューは施設によってさまざまですが、どちらも手作りで栄養満点です。

子ども食堂は食事をするだけでなく、子ども同士で遊んだり、大人たちと交流することもでき、家庭、学校に次ぐ第3の居場所となりつつあります。

利用した子どもたちからは、「一人ぼっちよりみんなで食べたほうがおいしい」という声があがり、運営している方々も「できるだけ多くの子どもたちに喜んでもらえるよう続けていきたい」と話しています。

西区藤棚周辺では、下記の時間・場所で開設しています。

- ◆ 藤棚地区センター（藤棚町 2-198）：連絡先 253-0388
不定期（12月22日）中学生以下無料、高校生以上100円
- ◆ カフェ ターブルドート（りそな銀行となり）連絡先：
315-2504、16:00～18:00、第3水曜日、中学生以下無料、
高校生以上500円
- ◆ 西昭会館（平沼陸橋下）連絡先：090-5793-1711
15:30～19:30、不定期（次回12月21日）、一律100円
- ◆ 丘友会館（霞ヶ丘 91-4）連絡先：090-4711-4463
11:30～13:30、不定期（次回12月26日）、中学生以下100円、高校生以上300円



西昭会館での子ども食堂

はじめまして、『ふじなちゃん』です。

50号の節目を迎えた藤棚新聞に、新しいキャラクターが誕生しました。



名前：ふじな
誕生日：2月27日
好きな食べ物：酒まんじゅう



はじめまして、ふじなといたします！
藤棚新聞のマスコットとして、皆さんと一緒に藤棚を盛り上げていきます！よろしくね！

藤棚商店会 初めての秋祭り、藤棚5種競技

——休める「藤棚ワイワイ広場」もオープン——

「商店街の自分たちが楽しくなかったら、お客さまも楽しいはずがない」。藤棚商店会では夏まつりに続き、商店会初の秋祭りを11月12日に開催しました。

秋祭りの目玉は、“藤棚5種競技”(フラフープ、幅跳び、縄跳び、グランドゴルフ、ダーツ)。商店街を舞台に、子どもと大人がそれぞれ金・銀・銅メダルを競いました。

さらに、コミュニティルームの『藤棚ワイワイ広場』もオープン。白を基調にした清潔感あふれるスペースでは、休憩のほか、手荷物の預かり・授乳・おむつ替え等ができ、車いすで利用可能なトイレもあります。

今回秋祭りを企画した藤棚商店会の赤荻会長は「年間行事を構築して、商店街の“売り”を作り、藤の棚がある綺麗な公園のような商店街」にしていきたいと語ります。これらの取り組みが評価され、藤棚商店街の知名度が上がるといいですね。



藤棚5種競技のフラフープ(上)
／藤棚ワイワイ広場(下)



神輿だ
わっしょい!
へそまつり

11月3日、藤棚一番街で恒例の「へそまつり」が行われました。たくさんの神輿が威勢よく練り歩き、商店街は盛り上がりました。

昔と今 「ハマちゃんバス」が街を往く

平成15年12月から平成19年3月まで、藤棚周辺をコミュニティバスが走っていました。「ハマちゃんバス」の愛称で親しまれた、西区おでかけサポートバスは、桜木町駅から西区役所、西戸部の住宅街や野毛山動物園などを巡回していました。

運賃は210円でしたが、運賃収入、利用客が予想以上に少なく、残念ながら廃止されました。



神中坂を走る
ハマちゃんバス



区役所主催の講座「わが町、西区を知る」

——歩いて、考えて、コースの魅力を伝える——

西区では、まちや商店街の歴史を学び、まち歩きやグループワークを通して、西区のあらたな魅力を発見して伝えていくための講座（西区役所地域振興課主催、全8回参加費無料）を開設しています。

11月11日に行われた第1回は、開講式とオリエンテーション。参加した25名の受講生は、第2回、第3回と戸部大通り商店街と藤棚地区商店街を歩き、横浜道・保土ヶ谷道や水道道の歴史に触れながら、何代も続いているお店の方のお話を聞きました。

今後は、西区の魅力を発見するための視点や聞き取りのノウハウ、さらにはガイドの仕方などを学び、オリジナルのコースを作成。実際にガイドをしながら街を歩き、修了式を迎えます。

この講座の目的は、『グループワークを通して受講生同士が仲間としてのつながりを深め、ともに西区の町の魅力を再発見・再確認し、学んだことを西区内外の人々に伝えていく』ことであると、西区地域振興課の職員は語ります。



商店街まち歩きの風景

地域防災拠点の訓練から

10月23日、稲荷台小学校にて地域防災拠点の避難訓練および、拠点開設・運営訓練と救助の連携を実行する総合訓練が行われました。西区で初の試みとなる総合的な訓練で、本番での動作を前提とした訓練を目指しました。

訓練した項目は、生活用具／ゴミ対策、体育館の区割り、食糧飲料水確保、トイレ対策、ペットの取り扱い、炊飯、要援護者支援、医療救護隊、物資搬送や倒壊家屋からの救助、アクセス路線の確保です。

実際の災害の現場では、偶発的で多様な「出会い」に直面します。しかし、現実から目をそらさず的確に対処していくことにより、周囲に安心感と希望を与えます。そして、それらの行動が情報の共有を生み、人と人のつながりを作って、共助に繋がると言われています。



●通称「ハマッコトイレ」の災害用トイレ

学校のプールから新たに設置した下水道管に水を引いて溜め、500回程度の利用ごとに公共下水道管に流し出すしくみです。

●要援護者を特別避難場所へ搬送する訓練

車椅子を利用した高齢の要援護者を、特別避難場所に搬送しました。



●避難場所の住みごころ

避難場所である体育館では、1人2㎡を基準としたときのスペースを段ボールで囲い、どれくらい狭いのかを体験しました。

訂正のお知らせ
1版の区役所主催の講座「わが町、西区を知る」で、第1回を11月1日としたのは、11月11日の誤りでした。お詫びして訂正します。

道志水源林 100 年記念フォーラム 約 14,000 人のボランティアが手入れ

横浜市が道志村の山林を購入し管理を始めてから 100 年を記念して、「道志水源林 100 年記念フォーラム」が 11 月 18 日に横浜市開港記念館で開かれました。

横浜は 1859 年の開港後、1887 年近代水道が創設されてから横浜水道の水源は道志川を利用してきました。しかし、上流部の山林が荒廃して、大雨など自然災害のたびに長期的な断水が起ったのです。そこで横浜市は 1916 年に道志村にあった山林を購入、翌年に道志村内に水源林管理事務所を設置し、1919 年には森林再生事業を開始しました。道志村の 6 割を占める約 4,600ha の民有林の中には、高齢化や人手不足で管理が行き届かない森林もありました。このための取り組みとして、2004 年度から 2015 年度まで道志水源林ボランティア事業が行われ、延べ 14,000 人のボランティアが約 59ha の山林の手入れをしました。

環境にも配慮、西区民まつり

11月6日に戸部公園と西前小学校で西区民まつりが行われました。また藤棚商店街では、消防音楽隊を始めとした各団体が演奏を行い、沿道のお客さんからもたくさんの拍手。

実行委員会事務局の方は「区民一人ひとりが楽しく、つながりを感じて助け合いながら参加できる、環境にも配慮した区民まつりを目指しています。」と話していました。



藤棚俳壇・選者——三村風彦

雪吊りの縄の青さに香ほのか
師走空飛行機雲が二本見え
暖簾替え老主新蕎麦を打つ
せわしげな電話の向こういわし雲
金木犀侘しさも連れ香りをり
スーパームーン一期一会の色深し

今吉正枝
荒川文字
星野輝子
吉田光子
矢島巴
松岡加代子

《寸評》
幹に沿って支柱を立て、支柱の頂点から八方へ縄を渡して枝を吊る。金沢市兼六園の雪吊りは冬の風物詩として有名。

*

投句——当季雑詠で一人2句まで——、氏名、連絡先を記載して。次回締切は一月二十日。
巻頭句には粗品を進呈。

Eメール: fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX : 045-895-0081

年越そばは松鶴で

お持ち帰り用そばも
ございます
貸切宴会 8名様～16名
(要予約2日前迄)
¥2,000～(飲み物別 応相談)

営業時間: AM11:30～PM9:00
西区久保町28-20 月曜・定休日
TEL & FAX: 045-231-7723

地元で30年! 親身な指導!

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

**相 談
無 料**

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一 西区中央2-13-2
税理士 寺田悟史 伊勢新ビル2F
8324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜